



本校教育目標：【自主】自ら進んで学ぶ生徒【寛容】明朗で思いやりのある生徒【挑戦】健康でたくましい生徒
 【重点目標】自らよく考え、やり抜く生徒 ～夢の実現～

原町三中だより

令和元年 7月12日(金)
 第11号
 発行責任者
 校長 鈴木 太
 電話 22-3802

第62回福島県中学校体育大会陸上競技大会

7月3日(水)～5日(金)の3日間、とうほう・みんなのスタジアムにて「第62回福島県中学校体育大会陸上競技大会」が開催されました。本校からは走り高跳びで1年の佐藤杏菜さんが出場し、5日(金)の午前11時00分から競技が開始されました。悔しい結果とはなりましたが、ほとんどが3年生の選手の中で、1年生から出場できたことは来年に向けての貴重な経験になったと思います。



看護師の仕事を知る学習会

7月9日(火)の6校時に、2年生を対象に「看護師の仕事を知る学習会」を開催しました。この学習会は、市内看護師不足の解消と中学生におけるキャリア教育の一環として、看護師の仕事の内容を理解するとともに、生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎能力や態度を育てることを目的として毎年実施されるものです。

今回は、小野田病院から看護主任の酒井様をはじめ2名の方をお迎えし、講話と実技指導をしていただきました。



実技指導の様子

「少年の主張」南相馬市大会

7月10日(水)、午後1時30分より小高中学校体育館にて「少年の主張」南相馬市大会が開催され、市内の中学校6校からの代表者2名による12名が発表しました。本校からは田能沙夜香さん(3年)と目黒琉汰さん(2年)が出場し、二人とも日常生活で感じていることを中学生らしい自由な発想と飾り気のない言葉で堂々と発表しました。



田能さん



目黒さん

- 審査結果 田能沙夜香さん「将来につなげるもの」優秀賞
- 目黒 琉汰さん「まず、自分から」優秀賞

芸術鑑賞教室 ～能楽の鑑賞～

7月11日(木)、文化芸術による子供育成事業として芸術鑑賞教室を実施し、「能楽」を鑑賞しました。この事業は、一流の文化芸術団体が巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図るといふねらいで文化庁が実施しているものです。今回本校で巡回公演をしていたのは、能楽シテ方宝生流の公式団体である「宝生会」の皆さんです。宝生会は125年の長きにわたって、能の楽しさを伝える活動を続けているとのこと。

学校の教科書にも取り上げられている能楽ですが、なかなか実際の公演を直に見る機会は少ないので、生徒の皆さんや保護者の皆様にとっても、貴重な体験ができたのではないかと思います。

公演後には、生徒会長の京谷さんがお礼の言葉を述べました。



狂言「柿山伏」



能「黒塚」